

にしかわ化石館 待望の開館！ - 令和3年10月4日 -

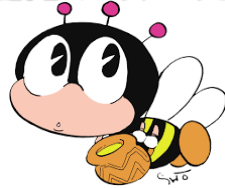
ゆきの灯り

甞った地域の宝

第57号

令和3年10月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



故西川功さんが独学で研究・調査・蒐集をされながら、没後適切な保存がされないままになっていたオキナワアナジャコやウミユリ等、全国的にも希少価値の高い多くの「化石・鉱物等」を長期的な保存・活用をすべく、油木協働支援センターが立ち上げた「化石魅力化プロジェクト」が中心となって進めてきた「にしかわ化石館」が完成し、10月4日（月）神石高原町議会議長橋本輝久様をはじめ、多くのご来賓や地元の方々の方々の参列を得て開館式典を挙行しました。

西川さんは、生前「旧西川化石標本室」パソコンフレットに以下のように記されています。「これは小さな小さな標本室です。標本も小さいし、設備も至って貧弱です。しかし、近くには利用できる地学関係の博物館がありません。地学に興味を持つ人は、どうか遠慮なくこの標本室を利用してください。…趣味で地学の勉強を続けるうち、実物標本の必要性を痛感しました。…」（一部抜粋）

「化石魅力化プロジェクト」では、西川さんの化石・鉱物等に対する熱い思いと共に、「西川さんが残された研究・学習の成果を広く認めていきたい」「化石館開館をきっかけに、興味・関心を新たな学習の始まりにしたい」「博物館がない町に、小さいけれど胸を張れる施設を作りたい」「まちづくり・地域づくりの活かしたい」等、スタッフそれぞれの様々な視点からの思いも描き合わせながら、計画を進めてきました。

10月4日を迎えるまでには、化石館開館のための改修工事、それに伴う七千点もの化石・鉱物等の仮倉庫への移転や台帳の確認・整理・分類作業等、様々な作業が続きました。また、庄原市立比和自然科学博物館をはじめとした、他市町の先進的な施設を視察し、改めて学習施設整備の必要性を感じました。そして完成した「にしかわ化石館」。公的な施設でもなく手作りの小さな民間施設ですが、油木協働支援センターでは、「にしかわ化石館」に次のような効果を期待しています。

- 教育効果
 - 児童・生徒
 - 学力の向上
 - 豊かな心の育成
 - 地域理解
 - 公共精神の育成
 - コミュニケーション能力育成等
 - 地域
 - 教育に対する関心の高まり
 - 教育力の向上
 - 生きがい・やる気・充実感の向上等
- 郷土愛着効果
 - 地球の成り立ちや地域の歴史の理解
 - 将来的な社会教育施設（博物館・美術館等）設立への理解・必要性・機運向上
 - 自然保護・保全等
- 経済効果
 - 近隣地区の自然観光資源との連携事業
 - 自然観光資源の発掘・整備
 - 体験交流会等

「まちづくり・地域づくり」とともに、油木地区の方々だけでなく、神石高原町内、また広く県内外からの来館者の方々の「学習ニーズ」に合う施設となればと思います。



オキナワアナジャコ

開館初日、多くの方々にご来館いただきました



「にしかわ化石館」開館にあたり、多くの皆様に大変お世話になりました。関係者一同、心より感謝しております。ありがとうございました。
油木協働支援センター
化石魅力化プロジェクト



生涯学習推進の拠点 情報の発信基地へ

「生涯学習のまち」とは、地域の人が充実した生活を目指して、多様な活動を主体的に行っており、それが可能な学習の場が整備されている「まち」(City)です。そのためには、民間施設を含め公民館や教育・研究・文化・スポーツ施設などの各種の学習設備が整備され、それぞれが充実していることが必要です。

そして、その成果を適切に生かすことができる社会を作っていくためにはなりません。油木協働支援センターでは、センター部会での活動や「にしかわ化石館」・「分室にしかわ」を通じて、神石高原町が進める「自然と歴史を生かした教育・文化のまちづくり」を生涯学習・社会教育の分野から推進・具現化していきたいと思っております。活用アイデアをご教授ください。

「にしかわ小さな展示室」では、学習活動の成果や趣味・コレクションの展示・発表を希望される方を募集しています。あなたの学習の成果や趣味を、地域の方々と気軽に共有してみませんか？ 「人生を豊かにする」それが生涯学習です。



「にしかわ化石館」開館協賛企画「にしかわ小さな展示室」
化石の魅力発見展示（協力：シルトピアカレッジ図書館）
標かしの市場地区写真展（にしかわ酒店のあった頃）
同時開催中！ 10月4日（月）～29日（金）

ゆき 令和3年度 軽トラ掘り出し市 PART 3
本年度最強最後！
ナマズの フィッシュ&チップス 500円
日時：令和3年11月3日（水） 10:00～14:00
場所：油木町総合運動場
主催：油木協働支援センター（わくわく農園チャレンジチーム）

クマに気をつけて



神石高原町でも近頃クマの目撃情報が複数回送されるようになりました。

実りの季節、皆さんがキノコや果実を採りに山に入る機会が増える一方、クマも冬眠に備えて食糧溜めを行うため、落下した堅果類を求めて里山へ移動しており、クマと遭遇する可能性が高くなります。クマとの事故が多いのが5・6・9・10月であることが知られています。

クマに出会ったら

絶対やってはいけないのは、「背中を見せて走って逃げる」ことです。 逃げる動物を見ると、クマにその気がなくても本能的に追いかけて襲いかかります。

(距離別)

- ・距離がある場合は、クマから目を離さずに木の影に隠れながら、音を立てずに反対側に逃げる。
- ・20mほどでクマと目が合い、クマがじっとしているときは刺激せず、背中を見せず、ゆっくり後ずさりする。

- ・20m以内、遭っただけなら手足を動かさないこと。動く人やクマ(クマの最大の敵はクマ)のような敵と認識されてしまう。素早い動きほどクマは俊敏に反応する。山林中では半身をゆっくり木の後ろ(市街地では電柱の裏側)に隠して顔をわずかに出して片眼でクマの行動を監視する。
- ・クマが近づいたら、複数の人が肩を組み両手を挙げたり、単独ではリュック等を振り回したり、熊手やクワを振りかざして自分をクマより大きく見せる。

- ・すぐ近くまで来た場合、首、頭部に爪の打撃を受けられないように、うつ伏せになり、両手で首を守る姿勢でじっとする。その時、リュック等を背負っている怪我を軽減させる。(籠、リュックを噛み、爪でザクザクにした10数例がある)。頭部や腹部を隠して少しでも重症化を防ぐ。手足に噛みついてきますが、それを耐える胆力が必要。
- ・5m以内で、クマ撃退スプレーを正しく使えば効果は確実。

スマートフォン教室

スマートフォンを持っているけど使っていない、電話など特定の機能しか使えない、といった方向けの教室です。

学習内容

- スマートフォンとは何か
- スマートフォンの基本操作
- スマートフォンの基本機能
スケジュール、メモ、タイマー、アラーム、写真撮影、Webサイト閲覧、電話、電話帳など。
- 文字打ちの練習・辞書の登録機能
- アプリのダウンロード

講師 伊藤 博暁 さん

日時 11月2日(火)/9日(火)/16日(火)
13時半~15時半 (予定)

場所 分室「にしかわ」 参加費 無料



町内ツキノワグマ目撃情報

(産業課振興係提供)

令和3年	月	場所	頭数
	6	李	1
	6	時安	1
	6	井関~上野	1
	6	有木	1
	9	相渡	1
	9	近田	1



参考文献：日本ツキノワグマ研究所理事長 米田一彦著「熊が人を襲うとき」

クマが立ち去ったら
クマの気配、足音(枯れ枝の折れる音)を確認し、細かく区切って木に隠れながら逃げることで

クマはおとなしい動物で、人が近づくと先にさざめきに隠れて人が行き過ぎるのを待っています。しかし、人にも暴力的な方がいるように、まれに人を襲う悪いクマもあり、一度人に危害を加えると人を恐れなくなり、再び危害を加えるようになります。広島県は平成3年から捕殺から保護(学習放獣)へと方向転換し、人とクマとの共存を目指しています。ただし、悪いクマは害獣として駆除しています。

ゆきキッズクラブ「ものづくり教室」をひらきました



みんな一生懸命です



玉からひもに伸ばします

コロナ禍で非常事態宣言が出る直前8月25日(水)、ゆきキッズクラブの「ものづくり教室」を開きました。当日はキッズ7名、大人1名の参加があり、粘土を使って実際に使える小物入れ作りに挑戦しました。粘土をひも状に伸ばして積み上げるひも作り方で取り組みました。均一の太さに伸ばし、土台の上に重ねた粘土を指で練り付けていきます。自分が入れて使う物を想像しながら、少しずつ器の形にしていきました。

子どもたちは作る形を想像しながら手作業をするのですが、低学年はそれ難しいようで戸惑っていました。が、高学年生の作るやり方を参考にしながらなんとか仕上げました。

できた器は乾燥させ、素焼きをして子ども達に渡しました。出来上がった小物入れが返ってくるのをみんな楽しみにしています。

訂正

ゆきの灯り9月号でお知らせした「動物駆逐用火火安全講習」の記事に間違いがありました。

(誤) 金額 再交付 5,000円 (正) 金額 再交付 5,000円
(本人負担 1,700円) → (本人負担 5,000円)

◇ご迷惑をおかけしました。お間違のないよう、よろしくお願いいたします。

連絡

「新型コロナウイルス緊急事態宣言」延長により、次の事業が延期となります。ご注意ください。

○大人のアートクラブ 9/27 → 10/25
○スカッシュレッスン 11/14 → 11/7
9/19 → 3月※

※スカッシュレッスンについては、期日が決定次第案内します。

1冊の本に出会うことは、1冊の本に出会うことに似ている。「出典：文部科学省」

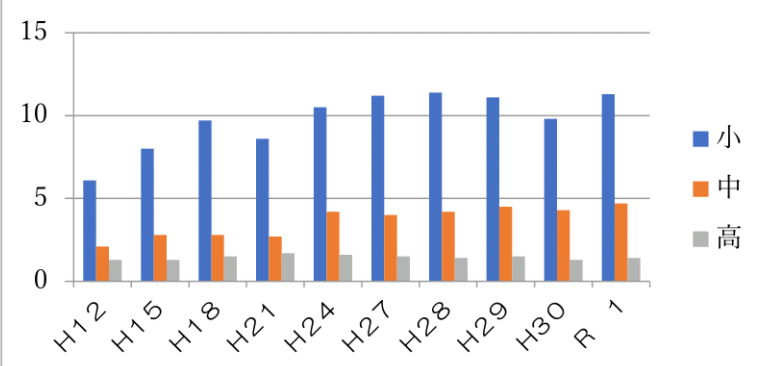
読書は、想像力や考える習慣を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができます。ですからテレビや漫画が好きな子にも、本を読む時間をもつように家庭で習慣づけたいものです。

そのためにも、食事の時間のように「読書の時間」を設ける、親子で図書館に行く、親も一緒に本を読むなど工夫し、子どもが読書の楽しさと出会うきっかけをつくりましょう。

また、読書を通じて子どもが感じたり考えたりしたことに耳を傾け、話し合うなど、親子の会話を増やし深める契機として読書を活用することも大切です。

読書週間は10月27日~11月9日です!

小・中・高校生の1ヶ月当たりの読書冊数



資料 全国学校図書館協議会
毎日新聞社 令和1年
「第65回学校読書調査」



—地域の子どもを見守り育てましょう— (油木協働支援センター)